

ペル・グラント受給学生の卒業率、それ以外の学生を下回る（1月20日）

調査会社のギャラップ社（Gallup）は、米国大学400校超の学長を対象に実施したオンラインインタビュー調査（実施期間：2015年11月9日～12月1日）の結果を基に作成した報告書「ギャラップ大学学長調査 ～第2回調査の結果～（Gallup College and University Presidents Study : Survey 2 Findings）」を発表した。これによると、約半数の学長が、ペル・グラント受給資格のある学生の卒業率は50%未満と回答し、全体の約8%の学長は、卒業率は20%未満と回答した。また、コミュニティカレッジのペル・グラント受給資格者の卒業率は、4年制大学のそれを大きく下回ることがこの調査で明らかとなったが、これは、コミュニティカレッジの全般的な卒業率が4年制大学のそれを下回ることが反映している可能性がある。このような状況でありながら、回答した学長の90%は、低所得層学生に対するサービスを向上させることが重要で、優先順位の高い問題であるとした。また、ペル・グラント受給資格者の卒業率を追跡していると回答した学長は全体の約80%で、その中の約70%の学長は、大学方針や実務を伝えるために、これらのデータを「よく」または「非常によく」利用すると回答している。

なお、本報告書は、<file:///C:/Users/owner/Downloads/2015_Presidents_Survey_Wave_2_FINAL.pdf>からダウンロード可能。

Gallup, *College Presidents: Pell Grant Students Lag in Degree Completion*

<http://www.gallup.com/opinion/gallup/188744/college-presidents-pell-grant-students-lag-degree-completion.aspx>